

区政会議でいただいたご意見への対応方針

資料5

番号	年月	区政会議委員意見	対応方針	分類
令和4年度第2回区政会議（令和4年12月13日開催）				
1	R4.12	【教育】 ・外国にルーツのある子どもの転入が増えてきた。そのため、子どもでも子ども同士の交流から自然と外国人と話せるような状況になっている。幼少期は順応性が高い。そういった状況を活かした取組を行えば、よりグローバルな人材が育つのではないか。（植田委員）	小学生に対し、外国人や外国文化を体験した方との外国の遊びや外国語による簡単な会話などの交流を通して、異なる文化・行動様式に対する理解を促進し、世界に目を向けるきっかけとなることをめざすとともに外国語学習への意欲を喚起することを目的として「小学生国際理解事業」を実施しております。これからも学校と連携し、国際理解教育をさらに拡げてまいります。	①
2	R4.12	【教育】 ・区役所の課題認識で「支援が必要な子どもや保護者に情報が届いていない」とあるが、文書が届いても見出しだけ見て後の文章はほとんど見ていない人が多い。端的な表現で伝わることもあるので、情報の受取り手が理解しやすいような伝達方法を工夫していく必要がある。 ・情報を保護者に伝えようとするのであれば、子どもに向けて伝えるとちゃんと伝わっていることがある。情報発信の際には誰にどう伝えるか工夫を。（飛田委員、岡崎委員）	必要な情報が区民に的確に届くように、例えば「こどもの居場所」における学習支援、相談対応などについて、端的にわかりやすくまとめたチラシを作成し学校を通じて配付したり、スマホ世代に対応するため、QRコードを掲載し居場所について手軽にわかるように工夫することを検討しています。今後も情報をわかりやすくお伝えするよう努めてまいります。	①
3	R4.12	【子育て】 ・発達障がいのある子どもさんがいる家庭では、居住区でなく隣接区の「居場所」に来られる方がいる。そういう方々のために地域を限定せずに事業を進めていけばどうか。（平田委員）	対象となる方の状況によっては、隣接区と連携した事業内容とすることが望ましいと考えられるものもあることから、該当する事業については、今後、検討を進めていくこととします。	③
4	R4.12	【子育て】 ・発達障がいに対する理解がまだまだ十分ではない。情報発信を工夫して、理解してもらうような取組をしていく必要もあるのではないか。（大野委員）	発達障がいについては、以前よりは社会の理解が進みつつあると考えていますが、今後、機会をとらえて積極的に周知・啓発に取り組んでまいります。	⑤
5	R4.12	【見守り】 ・町会に入っていない要援護者がわからない。（南委員）	要援護者に関しては町会加入の有無にかかわらず、民生委員、町会長等に要援護者名簿を提供し、日頃の見守りに活用頂いております。今後とも地域の見守り活動が強化されるよう、ネットワークづくりをはじめ取り組みを進めてまいります。	①
6	R4.12	【ボランティア登録】 ・民生委員だけでは見守りボランティアの数が足りない。ボランティアを増やしていくことも必要。（中野委員）	見守りボランティアの増員は課題と考えており、天王寺区社会福祉協議会「ゆうあい」とも連携し、今後検討してまいります。	③
7	R4.12	【がん検診】 会合の時などで、がん検診車（バス）が来てもらえたら受ける人も増えると思う。（飯田委員）	集客が見込める場所への検診車の配車を事業所管理局に要望を行うなど、受けていただきやすい方法を検討します。	③
8	R4.12	【がん検診】 がん検診の統計で、天王寺区の対象人数の分母をきちんと出して、検診者数と受診率を示してほしい。それに伴って受診率アップにつなげる年度目標を示していければいいと思う。（藤井委員）	「大阪市がん検診」について、当該検診の対象外である「加入医療保険や会社等で同等の検診が受診できる者」が就労状況等により毎年変更となる場合もあり、正確な受診対象者の把握が困難である点を踏まえ、大阪市全体でも具体的な目標値を設けていません。今後は、検診受診者数による目標値の設定も含め、検討をしてまいります。	③
9	R4.12	【防災】 ・災害訓練などで地域の公園にどのような設備があるかを周知し、消防ポンプ収納庫の中にあるもの（可搬式ポンプなど）を実際使用し見てもらうことで防災意識が高まるのではないか（佐藤委員、栗谷委員） ・学校での防災授業などは子どもから保護者へとつながる。（上田委員）	地域での防災訓練を実施されるときなど、実際に設備を使用する機会を設けるよう提案するほか、学校の協力により、児童生徒に防災授業を行ってまいります。（4年度3中学校、4小学校にて出前授業実施【予定を含む】）	①
10	R4.12	【防災】 災害はいつ起こるかかわからないので、自分で最低限の準備をし、自分の身を守ることを第一に考えて行動するべき。（櫻井委員）	防災知識や備えの啓発のために、区広報紙の防災特集や防災ハンドブックの発行、出前講座の実施などにより、繰り返し広く呼びかけて啓発を進めてまいります。	①
11	R4.12	【喫煙所】 天王寺駅前喫煙場所は混み合っており、喫煙場所が少ないと考えられる。喫煙場所を増やす必要があるのではないか。（佐野委員）	路上喫煙については「大阪市路上喫煙の防止に関する条例」に基づき対応しており、引き続き地域の住民・事業者の皆様との連携を密にしなが、喫煙場所の設置を含め、喫煙者の喫煙モラルの向上、マナー定着に向けた普及啓発に所管局の環境局とともに取り組んでまいります。	③
12	R4.12	【安全まちづくり】 自転車レーンの設置などが進められ自転車が通行しやすくなってきているが、停止が必要な場所でも一時停止せず通行しているところが目につく。自転車運転マナー・ルールなどを啓発する必要があると考える。（栗谷委員）	自転車運転のマナー・ルールについては、広報紙での連載や幼稚園の協力により保護者に啓発冊子を配布するなど実施しており、区民まつりなどの機会も捉えて今後とも啓発してまいります。	①

13	R4.12	<p>【広報紙配布方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙には有益な情報が掲載されていると思うが、若い人には届いていないのではないか。広報紙の情報をお知らせする仕組みが必要。また、広報紙の電子版があることも周知する必要がある。(佐藤委員、栗谷委員) ・全戸配布するなら地域向けにはポスティングや町会で配布することも有効ではないか。(三輪委員) ・高齢者、子どもが見るためには紙媒体は有効。(舒委員、橋本委員) 	<p>広報紙は現在、新聞折込と、希望者への個別配付によりお届けしております。並行してLINEやホームページなどデジタルでの発信も行っていますが、過渡期のため紙媒体での情報を求める方がまだまだ多いのが現状です。</p> <p>お手元に情報をお届けするために、紙媒体は引き続き有効と考えていますが、新聞購読世帯の減少など時代の変化もあることから、配布方法について全戸配布に向けて検討しています。全戸配布にあわせて、LINEやホームページなどデジタルでの発信についても定着するよう、広く周知してまいります。</p>	③
14	R4.12	<p>【広報紙紙面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズや記念品のプレゼントのコーナーを導入して興味を引いてはどうか。(舒委員) ・広報紙のタイトルは「天王寺」だが、「天王寺区」というのもっとアピールした方がよい。(立川委員) ・表紙の西暦表記は単に2022とするのではなく2022年と年を追記した方がよい。(立川委員) ・半分に折られて配布されることが多いので、表紙の上半分にアイキャッチが入るようにした方がよい。(立川委員) ・中面は、折り目で記事の切れ目がある方が見やすい。(三輪委員) ・表紙にキャッチコピーが入っていてもよい。(三輪委員) ・区の広報紙にQRコードを記載して、そこから満足度調査等を実施すれば回答してくれる方は増えるのでは。(橋本委員) 	<p>広報紙の紙面構成については、いただきましたご意見も参考にさせていただきますながら、改善に努めてまいります。</p>	⑤
15	R4.12	<p>【SNS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINE等で情報を得られるのは便利。(舒委員) ・LINEのQRコードを広報紙表紙に掲載してはどうか。(立川委員) ・もし全戸配布にしてページが減るなら若年層向けにLINE発信は充実した方がよい。(橋本委員) ・容量の大きいコンテンツは、ダウンロードを敬遠されるので注意が必要。(立川委員) 	<p>区ホームページやTwitterなどのSNSについては、多くの方に手軽に素早く情報をお伝えするツールと認識しており、積極的な更新による情報発信に努めてまいります。</p> <p>また、LINEでの発信についても、本人にとって不要な情報が多いとすぐにブロックされるという傾向はありますが、多くの方が使い慣れているツールがあることから、内容を選択しながら発信に努めてまいります。</p>	⑤
16	R4.12	<p>【区外への魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天王寺区には歴史的資産等恵まれた材料があるので、うまくアピールしていきたい。(橋本委員) ・広報紙の表紙と特集面は区独自の記事で、区外へのアピールとしても面白いので、区ホームページにまとめるなどしてはどうか。(三輪委員) ・区民、区外への発信は両方とも大切。特に区外へのアピールはインターネットを使った発信が有効。(舒委員) ・海外向けには多言語で発信するのが良い。(三輪委員) ・正しい外国語で情報発信するだけで、アクセス・関心が増えることは認識しておくべき。(立川委員) ・国際交流センター等があり、海外の方を受け入れる土壌があると思う。(橋本委員) ・海外からのお客さんは受け入れる気持ちで迎えたい。(舒委員) 	<p>天王寺区の魅力ある歴史的・文化的資産の情報発信の取り組みとして、地域団体と連携しながら歴史講演会やまちあるきイベントなどを実施しております。</p> <p>区の魅力発信ツールとして、「上町台地周遊マップ」を増刷し市内・区内各所に配架するとともに、HPにもマップを掲載しています。</p> <p>区外の方にもHPやSNSなどを活用して積極的にイベントなどの情報を発信するとともに、関係機関と連携し、さらなる情報発信に取り組んでまいります。</p> <p>外国語による情報発信については、自動翻訳技術の進展などの状況もふまえて、必要に応じて取組みを検討してまいります。</p>	①

※分類

- ①当年度(4年度)において対応 ②5年度運営方針に反映または5年度に対応予定
 ③5年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他